

令和6年(設立19年度)度事業報告書

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会

1. 事業の成果

NPO法人設立19年目にあたる令和6年度は、自転車活用の大前提である道路交通の安全性確保を前進させるため、自転車安全教育のあり方について警察庁が設置した「自転車の交通安全教育の充実化に向けた官民連携協議会」に自活研理事から小林成基、絹代、古倉宗治(日本シェアサイクル協会会長)、藤本典昭(一般社団法人市民自転車学校プロジェクト代表)が参加し、令和8年4月1日に施行予定の自転車交通反則通告制度の実効性を高める年代層に応じた交通安全教育のあり方を令和6年7月の2年にわたって議論した。(継続中)

■青切符制度の導入を前に、新聞、TV、週刊誌、業界専門誌などの取材に対応し、新たな制度導入への啓発活動にも積極的に取り組んだ他、東京都が自転車安全利用の普及のために開発した「東京都自転車安全学習アプリ「輪トレ(りんトレ)」を活用した教育プログラムに理事や会員を講師として派遣し、主に高校生を中心に都民の啓発に努めた。

■設立当初から計画してきた国際的な自転車まちづくり政策会議「Velo-city」(ECF/欧州自転車連合)の我が国における窓口として有識者、業界団体に働きかけ、2023ライブチヒ、2024гентと連続して数十名規模の代表団を送り込むことに協力した。更に自転車活用推進法にも掲げられている国際会議の実現に向けて、今年度は特に強力な働きかけを行い、会議誘致の機運を盛り上げるため自転車活用推進議員連盟の会合開設、運営協力を通じて、関係各省、自治体とも連携し、結果として2027年愛媛県への誘致が決定した。

■研究会としては当年度も会員の安全で快適な自転車利用を進めるため賠償責任保険を付与した制度は維持し、内外の自転車環境について有識者を招いた研究会をリアル&オンラインのハイブリッド方式で開催し知見を深める努力を続けた。

■ある県の幅広い歩道に設置した自転車通行指定部分の車道横断部分に予期しにくい構造の15センチメートルほどの高さを有する縁石での会員の自損事故の報告を契機に、設計上の危険について緊急のオンライン討論会を開始し、改善を要求したところ道路管理者は改修予定を前倒して危険箇所の解消を行った。これを受けて自活研内に恒常的な課題解決のためのオンラインパネルの設置が提案され、現役時代に国土交通省宇都宮国道事務所長などとして一級国道初の矢羽根表示などを指導した会員の小路泰広さんに事務局次長をお願いし、パネルの運営管理を担当していただくことになった(稼働開始は令和7年度)。かねてからの懸案であった自活研サロンもこの構想に集約される予定である。

■自転車駐車環境の実態調査と提言、議員連盟との連携による自転車活用推進計画への働きかけ、社団法人日本シェアサイクル協会への協力、子ども向けの自転車検定ネット試験、11代目自転車名人の選考準備、自転車10大ニュースの選定と公表などは従来通り継続した。

■11月には第11回自転車利用環境向上会議に協力し、福井県敦賀市と若狭湾地域で開催したところ、歴代最高の500名を超える参加者を得た。

■超党派の国会議員で組織する自転車活用推進議員連盟の協力事務局として、二階俊博会長の勇退を受け、新たに会長に就任した橋本聖子参議院議員と連携し、引き続き活動の一端を担って行くことになった

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容 (主にハイブリッド開催とした)	実施 日時	実施 場所	従事者 数	受益対象者の範囲 (リアル参加、有料)	支出額 (千円)
自転車活用に関する啓発事業	自転車活用研究会第1回◇今のうちかもしれない台湾の自転車旅／元台湾新幹線建設チーム 川村善久氏	2024年4月9日	東京	4	一般市民等48名 (リアル10名)	46.5
	自転車活用研究会第2回◇日本人が知らない東南アジア、タイの快適な自転車ライフ／THONGLOR BIKE 星 信一 氏	2024年6月21日	東京	4	一般市民等41名 (リアル5)	46.5
	自転車活用研究会第3回◇英国自転車ビジネス史のディープな世界／奈良県立大学地域創造学部准教授 山部 洋幸 氏	2024年7月19日	東京	3	一般市民等44名 (リアル16)	46.5
	自転車活用研究会第4回◇やっぱり住んでみなくてはわからない／ドロレ・中村理事	2024年9月13日	東京	3	一般市民等46名 (リアル19)	46.5
	自転車活用研究会第5回◇最新韓国・米国事情を中心に／輪の国びわ湖推進協議会会長、自転車ライフプロジェクト代表 藤本 芳一 氏	2024年11月1日	東京	3	一般市民等58名 (リアル0)	36.5

事業名	事業内容 (一部ハイブリッド開催とした)	実施 日時	実施 場所	従事者 数	受益対象者の範囲 (リアル参加、有料)	支出額 (千円)
	自転車活用研究会第6回◇デンマーク自転車活用の現状と課題／ライトウェイプロダクツジャパン株式会社 左木 孝徳 氏	2024年12月6日	東京	3	一般市民等60名 (リアル0)	36.5
	自転車活用研究会第7回◇続・デンマーク自転車活用の現状と課題／ライトウェイプロダクツジャパン株式会社 左木 孝徳 氏	2025年1月17日	東京	3	一般市民等46名 (リアル0)	36.5
	自転車活用研究会第8回◇自転車新時代へ向けて／エミメントパートナーズ株式会社代表 日比谷 陽一良氏 ／技術解説：山津 貴之氏	2025年2月21日	東京	4	一般市民等62名 (リアル18)	46.5
	自転車活用研究会第9回◇「多様なモビリティの登場で変わる街と暮らし」／東海大学建築都市学部土木工学科土木工学科准教授 鈴木美緒氏	2025年3月14日	東京	4	一般市民等58名 (リアル22)	46.5

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
調査研究事業	駐輪場利用状況調査及び走行空間整備調査	2024/4/1-2025/3/31	関東	1	協力団体・企業	1,690
安心安全に自転車を活用する事業	引き続き自転車乗用中の不慮の事故による賠償を担保する保険事業の普及に努める。	2024/4/1-2025/3/31	日本国内	1	正会員	840
交通安全啓発事業	東京都自転車安全学習アプリ「輪トレ」を活用した交通安全教室の講師派遣	2024/4/1-2025/3/31	日本国内	6	都立中学・高校・都内在住企業など	600

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
自転車グッズ販売事業	ホームページを通じて自転車側方通過時に1.5m以上の離隔距離確保を呼びかけるマグネットシートなど)制作・販売を行う事業。	2024/4/1-2024/3/31	全国	1	一般市民	0.360